

## 農業構造動態調査の概要

### 調査の目的

農業を取り巻く諸情勢が著しく変化する中で、5年ごとに実施する農林業センサス実施年以外の年における農業経営体数、農業労働力等の基本的な農業構造の実態及びその変化を明らかにし、農政の企画・立案、推進等に必要な資料を整備することを目的とする。

### 調査対象

本調査は、農業経営体を調査対象としている。

なお、調査は、標本調査により行うこととし、2010年世界農林業センサス結果に基づいて作成した母集団名簿を用いて標本抽出を行った。

#### (1) 家族経営体

標本抽出は、母集団を主副業別経営組織別に層化し、第1次抽出単位を旧市区町村、第2次抽出単位を旧市区町村内の家族経営体とする層化2段抽出法により行った（標本数は、全国で約3万5千経営体）。

#### (2) 組織経営体

標本抽出は、母集団を農産物の生産を行う組織経営体と農作業の受託のみを行う組織経営体に区分し、経営形態別に層化し抽出する層化系統抽出法により行った（標本数は、全国で約1万経営体）。

### 調査事項（下表、調査事項一覧参照）

- (1) 経営の態様
- (2) 農業労働
- (3) 耕地
- (4) 農作業
- (5) 農業生産物
- (6) その他農林業経営体の現況を把握するために必要な事項

### 調査の時期

毎年2月1日（農林業センサス実施年を除く。）

### 調査の方法

#### (1) 家族経営体調査

調査は、統計調査員（農業構造動態調査員）が調査票を配布・回収する自計報告による方法で行った。

#### (2) 組織経営体調査

調査は、農林水産省地方統計組織から調査票を郵送により配布・回収又はオンラインにより報告する自計報告による方法で行った。

### 農業構造動態調査 調査事項一覧

(2015年農林業センサス(案)との比較)

	農林業センサス		農業構造動態調査	
	家族経営	組織経営	家族経営	組織経営
【1】経営体の概要				
1 法人化の状況				
2 預託事業の有無	-		-	-
3 共同採草・放牧の有無	-		-	-
【2】世帯		-		-
【3】農業経営内部の労働力	-		-	-
【4】農業経営の雇用				
【5】土地				
【6】販売を目的とした農産物の生産			水稲のみ	水稲のみ
【7】農作業の委託(請け負わせ)			-	-
【8】所有している農業用機械			-	-
【9】過去1年間の農産物の販売				
【10】過去1年間の農作業の受託(請け負い)				
【11】農業経営の特徴			関連事業のみ	関連事業のみ
【12】林業作業			-	-
【13】素材生産			-	-
【14】林業経営内部の労働力			-	-
【15】林業経営の雇用			-	-
【16】過去1年間の林産物の販売			-	-
【17】過去1年間の林業作業の受託(請け負い)			-	-
【18】都道府県設定項目			-	-
【19】各種制度(認定農業者の有無、経営所得安定対策の加入の有無等)との関係	-	-		

・・・農林業センサスより簡素化し設定。